



## シリーズ「新しい時代の幕開け」 グレタさんの願い

校長 笠井 猛雄



2月の全校朝会で、グレタ・トゥーンベリさんを紹介しました。グレタさんは、スウェーデン出身で現在17歳です。2018年5月、15歳の時に「気候のための学校ストライキ」という看板を掲げて、スウェーデン政府に対して、より強い気候変動対策を求める運動を起こしました。2019年9月、グレタさんはニューヨークの国連本部で行われた気候行動サミットでスピーチをしました。(右写真)

この会議には、アメリカのトランプ大統領や日本の小泉環境大臣も出席していました。全校朝会の最初に、この様子を動画で視聴しました。英語のスピーチだったので、内容はよく分かりませんが、グレタさんの表情や語気から、怒っているように見えました。「グレタさんは、どうして怒っているのでしょうか？」と問いかけ、グレタさんの願いを説明しました。



世界のみなさん。  
今、地球温暖化が進んでいます。  
地球の未来のために、もっと真剣に考えてください。

グレタさんは、この会議に出席している世界各国の代表に向かって、地球温暖化対策の強化を怒りを込めて訴えました。

この100年間で地球の気温は0.6度上昇し、このまま何もせずに放っておくと、2100年には気温が5度以上も上がると言われています。地球温暖化が進むと、南極や北極の氷が溶け出します。動物や植物の命が危険にさらされ、海水面の上昇により人間が住む島が水没してしまう恐れがあります。自然災害や異常気象も起きやすくなります。平年より2～3度気温が高い日が続く最近の気候も、地球温暖化の影響でしょうか。雪不足で、1月末に予定していたスキー教室は中止を余儀なくされました。地球温暖化は、すでに私たちの身近な生活にも影響を与えているのかもしれない。現在、「温室効果ガス」を削減する取組が世界中の多くの企業で行われています。では、私たちにもできることはないのでしょうか。期待を込めて、子どもたちに次のように話をしました。

地球温暖化の原因は「温室効果ガス」です。  
「温室効果ガス」(二酸化炭素)は物を燃やす時、電気を作る時に多く発生します。  
グレタさんは、地球温暖化を防ぐために自分にできることを考え行動しています。  
みなさんも「温室効果ガス」を減らすために、例えば、家や学校の電気の無駄づかいをなくすことができるはずです。  
グレタさんの願いを、みんなも一緒に考えて地球の未来のために自分ができることを考えて行動してほしいと思います。



令和は子どもたちの時代です。地球環境、子どもたちの未来を守るのは、私たち大人の責任でもあります。グレタさんの活動は、世界中の人々へ広がっています。私たち大人も、グレタさんの願いや行動力に学びたいと思います。